

忍ヶ丘

- 特集1 創立60周年記念
- 特集2 ミヤタン学友会
- 学科・専攻科の一年間の取り組み
- 教員の紹介 ほか



宮崎学園短期大学
Miyazaki Gakuen Junior College



CONTENTS

vol. 17
SHINOBUGAOKA

- 1 学長所感
今後の日本の危機的状況を支える皆さんへ 学長 村上 昇
- 2 特集1 創立60周年記念
- 4 特集2 ミヤタン学友会
- 6 保育科の一年間の取り組み
- 10 現代ビジネス科の一年間の取り組み
- 14 専攻科(福祉専攻)の一年間の取り組み
- 18 研究室レポート
- 22 新教職員紹介
- 24 幼児教育・保育センター主催 2024年度公開講座
- 25 こども音楽教育センターの活動
- 26 保健管理センター
- 27 2024年度 オープンキャンパス報告
- 28 宮崎学園図書館の活動
- 29 令和6(2024)年度 就職状況中間報告
- 30 しのぶ会だより
- 39 お知らせ



表紙の紹介

表紙は、県道側からみた体育館前の風景です。
令和4(2022)年度より、宮崎国際大学と宮崎学園短期大学を、明るく開放感なキャンパスをデザインしようというコンセプトで改修工事を行っています。
令和6年度は、その一環で、学校名を記載している看板を風格のあるものへと刷新しました。
創立60周年を迎える歴史と伝統のある短期大学として、今後も発展し続けます

宮崎女子短期大学・宮崎学園短期大学校歌

作詞 狩野 満／作曲 石田 良男

一、美しや

霧島山を見はるかし
風わたる忍ヶ丘に

学舎立てり

われらが母校

集ひきてけふこそ学べ

若きわれらの夢ははるけし

三、讃へずや

学の自由を旗として
新しきあすをめざすと

学舎立てり

われらが母校

よき友に会ひて語らん

若きわれらの花は友垣

二、学ばずや

清武川の水光り

古き日の歴史のあとに

学舎立てり

われらが母校

人らしき人にあるべく

若きわれらの道はけはしき

四、ゆかしきや

白雲遠く消ゆる果て

南国の潮騒ききて

学舎立てり

われらが母校

時うつり別れゆくとも

若きわれらの胸うたはむ

あわれわれらが母校
われらが母校

QRコードを
スマホで読み取ると
メロディーが
流れます。



忍ヶ丘 第17号

【編集委員】 しのぶ会事務局
山田 秀人 河野 美香子 桑迫 信子
伊東 朋子 高山 和歌菜 持原 圭吾

【発行日】 令和7年3月19日

【発行所】 宮崎学園短期大学
宮崎学園短期大学内 しのぶ会事務局

〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415 TEL.(0985)85-0146

【印刷所】 株式会社 宮崎南印刷

今後の日本の危機的状況を 支える皆さんへ

皆

さんはたびたび少子高齢化という言葉
を耳にしていると思いますが、少子化に
よって困っていることを現実的に実感しないと、こ
の問題を深刻にとらえないのではないのでしょうか？
1990年に18歳人口が201万人だったのが、
2023年には約半分の110万人にまで減少しまし
た。つまり、職場で働いている若い人の数が減少
して行き、現在は、30年前に比較すると約半分
になっているのです。これ以上少子化が進めばど
うなるのでしょうか？

例えば運送業を例にとると分かりやすいかもしれ
ません。コンビニに品物を運んで来る人、ガソリ
ンスタンドにガソリンを運んで来る石油会社の人、
毎日ごみ収集にやって来る人、アマゾン等の品物
を配達してくれる宅配者、郵便配達人、タクシー・
バス・電車の運転手、などなどの人がさらに少なく
なれば、必要な物が手に入らなくなり、ごみも出せ
なくなるでしょう。つまり、地方の公共サービス、
交通、経済は衰退して行き、幾つかの村は消滅す
るでしょう。この少子化は環境問題に非常に似て
おり、これ以上地球の温暖化が進めば、私たちは
地球上で生活できなくなるかもしれません。

本学に着任した際にホームページの学長ブログ
に、次のように書きました。「今やっていることは
5～20年先への準備、5～20年先の自分のため、
とってください。つまり、今の状態（現在の社

会、現在の経済、現在の生活環境、現在の自分）
は過去5～20年の結果を反映しているのです」と。
私たちは、「今が良ければ良い」では済まなくなっ
ていることを真剣にとらえ、何をすべきか？ を真
剣に考え、常に将来を見据えた行動を取っていた
だきたいと思います。



学長 村上 昇

宮崎学園短期大学は

令和7(2025)年に創立60周年を迎えます

さらなる活躍を願って

令

和6(2024)

年度卒業生・
修了生の皆さま、ご
卒業・修了おめでとう
ございます。2年
間そして3年間の学
びを終え、いよいよ
社会に巣立たれる
皆さまの今後のご活
躍を心よりお祈りし
ております。



理事長
山下 恵子

しのぶ会の皆さま、いつも応援していただきありがとうございます。宮崎学園短期大学は令和7年度にいよいよ創立60周年を迎えます。保育科、国文科、初等教育科、音楽科、英語科、人間文化学科、現代ビジネス科、専攻科(福祉専攻)、専攻科(音楽療法専攻)と長い歴史を刻んできました。宮崎にはなくてはならない短期大学として歩みを進めることができていること、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも地域に根差した短期大学として、法人内の連携を深めながら、頑張っていきたいと思います。

私は、第2代理事長大坪久泰先生の後を継ぎ、第3代理事長を務めております。平成元(1989)年4月から非常勤講師、平成4(1992)年からは、常勤講師として、保育科の遊びと音楽、保育内容の研究表現等を担当してきました。平成9(1997)年4月の音楽科音楽療法コースの立ち

上げに携わらせていただき、その後は音楽科の教員として、たくさんの学生たちと充実した時間を過ごさせていただきました。そして現在も教鞭をとることができますことをとても幸せに思います。

36年の法人勤務の間には、多くの卒業生の方々とお仕事をご一緒させていただいております。また、種々の研修や会議等で本学卒業生の活躍のお話を聞かせていただきます。「礼節・勤労」の精神で、真摯に職務を全うされる姿に感銘を受けます。卒業生が頑張られる姿、活躍される姿は、学園の宝物です。多くの宝物をいただいていること、感謝の念にたえません。

大変残念なお知らせとなりましたが、昨年6月12日、第2代理事長の大坪久泰先生が92歳で逝去されました。26年という長きにわたり理事長として宮崎学園にご尽力いただきました。退任後もいつも宮崎学園のことを心にかけてくださり、在学生や卒業生の活躍をとても楽しみにされていました。一昨年、宮崎学園高等学校野球部が甲子園に初出場した際は大変喜ばれ、出場記念のプレートをベッドの横に飾り、いつも目にされていたとお聞きました。

大坪先生が書かれた書籍に『大学考』があります。その中に「志高清遠」という言葉が記されています。これは、清らかな心で、遠い将来に想いを致し、志を高く持って歩んで欲しいという願いです。「志高清遠」は、在学生そして卒業生の皆さまにも贈られた言葉です。私たちの心に残したいと思います。

本学創立50周年からの10年間を振り返ってみますと、大震災やコロナ禍を経て時代は大きく

変わりました。現在は、VUCA（予測困難・不確実・複雑・曖昧）の時代と言われています。VUCAの時代は、自ら課題を見つけ解決し、他者と協働し、自ら考え抜く時代です。まさに、教育界は教わったことをその通りできる教育から脱却し、自ら生み出す力を高める教育が求められ、さらに世界のどこからでも学びのアクセスができるパラダイム転換、加えて多様な人たちとの協働が求められています。1985年の国連創設40周年の際ナンシー・レーガン氏が贈ったノーマン・ロックウェルのモザイク画には、「己の欲するところを人に施せ」（聖書 マタイによる福音書7章12節）と書かれています。この画には、尊厳と尊敬が込められ、すべての民族、信教、人種が共存する時代が描かれています。このような新時代で、さらなる活躍が期待されているのが本学卒業生の皆さま方であると思います。

本学園の建学の精神は「礼節・勤労」です。自他を尊重し、真摯な態度で生きていくことが込められた建学の精神は、在学中もこれから大事にしていきたい最も大切な精神です。

新しい時代の中で、在学生・卒業生の皆さま方が益々活躍され、幸せな人生を歩まれますことを心から願っています。

どうぞ、いつでも忍ヶ丘のキャンパスに立ち寄っ

てください。新校舎になっておりますが、そこには、学びの炎と皆さま方の青春が在り続けています。お待ちしております。



▲創設当初の校舎



▲昭和54(1979)年、平成6(1994)年からの校舎



▲平成27(2015)年からの校舎

寄付のお願い

創立60周年記念事業として令和7年10月10日(金)に宮崎市清武文化会館において創立記念式典の実施、またホームカミングday等を計画しております。

誠に恐縮ではございますが、本事業実施にあたり、ご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

ます。ご寄付いただける際には、同封の振込用紙に用途として『短大60周年記念』と記入をお願いいたします。

詳細につきましては、随時本学ホームページに掲載いたします。

ミヤタン学友会

宮崎学園短期大学の学生みんなのために活動する学友会。春の忍ヶ丘祭、夏の忍ヶ丘祭、秋の忍ヶ丘祭、クリスマスコンサートなどのイベントを企画・運営しています。
近年はミヤタンを盛り上げたいと、学友会に立候補する学生が増加中！

学友会メンバー1・2年生



春の忍ヶ丘祭

みんなで力を合わせて！



＼みんなでイエーイ！／



秋の忍ヶ丘祭

夏の忍ヶ丘祭
(夕涼み会)

＼浴衣がイイネ！／



クリスマス
ミニコンサート

素敵な歌声を聴かせて♪



③副会長 岩下 裕哉

今回、学友会副会長になりました保育科1年 岩下裕哉です。今年も学生の皆さんに最高に楽しい思い出を届けられるように精一杯頑張ります！ よろしくお願ひします！

①会長 松永 愛美

新役員が決まり、新たな学友会メンバーで学友会活動を活発にして行けるよう努力いたします。学友のみんなと企画・運営を行い、宮崎学園短期大学を盛り上げて行きたいと思ひます。今後ともご支援よろしくお願ひいたします。

②副会長 市村 美知

私のモットーは「前でみんなを引っ張るよりも、後ろでみんなを支える存在になること」です。学友会には後期から参加しましたが、宮崎学園短期大学の学生、教職員にとって、より良い大学生活となるよう、学友会のメンバーと共に尽力してまいります。大学生活での悩みや困り事があれば是非相談に来てください。ミヤタンをみんなで盛り上げていきましょう！



学友会メンバー1年生

注目!!

＼みんなの人気者！／

しのぼん

「ゆるパース
(旧ゆるキャラ
グランプリ)」に
エントリーしました!!

結果は……?

10位入賞ならず……

来年は
入賞目指して
頑張ります!
引き続き応援
お願いします!

ガンバレ!



保育科の一年間の取り組み

MESSAGE

これからの一歩へ



保育科学科長
後藤 祐子

寒

い冬が過ぎ、春の足音が聴こえ始めました。吹く風もあたたかく感じられ、行き交う人々の足取りもなんだか軽やかです。学生たちの旅立ちの時を前にして、喜びと寂しさが入り混じった気持ちを、私は毎年この時期味わっています。

短大での2年間、または専攻科まで進学した方にとっての3年間は、人生の道のりの中でどのようなものであったでしょうか。社会が大きく変化している昨今、戦争・貧困・自然災害……今この瞬間にも命の危機に立たされている人、人生に絶望している人々もいる現実を前に、今私たちはどうあるべきなのか常に問いながら本学は前へ進んでいます。

2月に、本学幼児教育・保育センター主催の『第1回MIYAGAKUこどもフォーラム』が開催されました。このフォーラムは、子どもが一人の人として尊重され、子育て家庭が安心して暮らせる、やさしく温かい社会の実現へ向けた第一歩を、本学学生と共に踏み出したいという想いで企画されました。フォーラムでは「幸せ」という言葉がキーワードであっ

たように思います。本学では、自分たちができることで地域に関わっていき、地域の人々を元気にしたいという志を持った学生たちが集まり、「みんなのおうちデザインサークル」が12月に発足しました。このことをきっかけに、地域子育て支援の拠点づくりを通して“地域とつながる場”を創っていきたいと動き出しています。福祉、保育を学ぶ上で身近な人の「幸せ」は忘れてはならない視点です。小さなことからでも、「幸せ」と感じられる時間を過ごし、「幸せ」と思えるつながりを持てたらと思っています。

本学を巣立っていく学生たち一人ひとりにとって、この忍ヶ丘での時間が幸せなものであったならば嬉しいです。

REPORT

イタリア幼児教育研修報告

2

024年12月にイタリア幼児教育を学ぶ研修へ行きました。イタリア幼児教育と言えば、「レッジョ・エミリア・アプローチ」です。教育家のローリス・マラグッツィ氏が提唱した「子どもたちの100の言葉」を教育理念とし、子どもが主体であること、子どもの創造的な表現を引き出すことに重点が置かれ、子どもを学びの中心に据えた教育・保育が行われています。保育現場には、アト

リエリスタと呼ばれる美術やデザインの専門家が必ず配置されており、日々子どもたちとプロジェクト型の活動を展開しています。建物は光の入り方や、窓の配置、室内の設計すべ

てに意味があり、子どもたちの感性に働きかける環境がありました。子どもたちが持って生まれた感性を大事に育てる関りや環境を創造していく大人でありたいと思いました。



▲アアルト大学(旧ヘルシキ大学)での講義の様子



▲ジュリア・マラモッティ保育園の外庭



▲ミラノ・チルドレン・ミュージアム

REPORT

放課後児童支援員認定資格研修を実施

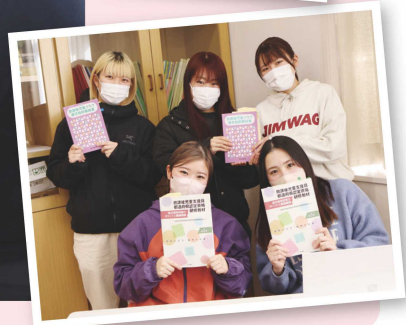
今年度(令和6年度)より放課後児童支援員の資格取得のための認定資格研修(宮崎県主催)が本学で実施されています。保育科2年生32名、専攻科生6名の学生たちが受講し「放課後児童支援員」の資格が認定されました。放課後児童クラブ(児童福祉法上の放課後児童健全育成事業、子ども子育て支援法の地域子ども子育て支援事業)とは、「保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校等に通う子どもたちに、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業」で、女性の就労の増加や少子化が進行する中、仕事と子育ての両立支援、児童の健全育成対策として重要な役割を担っています。つまり、放課後児童支援員は小学校に通う子どもたちが放課後や学校休業日(土曜日、夏休

み、春休みなど)に安心して過ごせる“居場所”を提供し、その成長を見守る専門職です。

この認定資格研修は①放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の理解、②子どもを理解するための基礎知識、③放課後児童クラブにおける子どもの育成支援、④放課後児童クラブにおける保護者・学校・地域との連携・協力、⑤放課後児童クラブにおける安全・安心への対応、⑥放課後児童支援員として求められる役割・機能について、16科目(24時間)で構成されています。一般の受講生も含め100名近くの受講者とともに、学生たちも懸命に講義に耳を傾けました。この事業に必要な放課後児童支援員としての役割や育成支援の内容、職務を遂行する上で必要最低限の知識及び技能

の修得とそれを実践する際の基本的な考え方や心得を認識することができました。

放課後児童支援員の仕事は、放課後に子どもたちが安心して過ごせる遊びや生活の場を提供し、その過程で子どもたちの主体性や社会性、創造性を育む手助けをすることです。保護者と信頼関係を築きながら、学校や地域住民とも連携し、子どものために協力し合う体制を築くことも重要です。本学は保育者を養成する伝統ある大学です。この認定資格研修を受講した学生たちが幼児期から学童期、青年期へと続く育ちの連続性に支援の視野を拡げ、子どもたちの未来を豊かにできる専門職になってほしいと願います。



REPORT

附属園にて「保育のお仕事体験」を実施

近

隣の小学校5・6年生を対象として、令和7(2025)年1月25日(土)に清武みどり幼稚園、2月1日(土)にみどり幼稚園にて「保育のお仕事体験」を実施しました。

「小学生にも保育の仕事に興味や関心を持ってもらい、将来は保育者を目指してほしい」という想いから企画されたものであり、宮崎学園短期大学・宮崎県保育連盟連合会・宮崎県幼稚園連合会・全国認定こども園協会宮崎県支部が共催で実施に至りました。

「将来は保育士になりたいと思っ

ています!」「子どもたちと遊ぶのを楽しみに来ました!」と園に到着してすぐに意気込みを語ってくれる小学生もあり、頼もしく感じられました。活動中は園児たちに寄り添いながら優しく語り掛ける姿や、難しい所はそっと手を差し伸べて援助する姿が見られました。また、遊びを通した小学生とのやり取りに信頼を寄せ、園児たちも安心して楽しそうに活動する姿が印象的でした。遊びの終わりにはお互いに名残惜しさを感じ、別れを惜しみながら言葉を交わし、手を振る姿も見られました。また、赤



ちゃん人形を用いたおむつ替え体験も好評でした。

保育の仕事に興味を持ってもらうことを目的とし企画しましたが、小学生と園児との交流の場としても素晴らしい時間となりました。



NEWS

保育科1・2年生対象に特別授業が行われました

令

和6(2024)年7月2日(火)に、お茶の水女子大学お茶大アカデミック・プロダクション寄附講座教授で本学の客員教授でもある宮里 暁美先生をお招きし、保育科特別授業が行われました。テーマは「子どもって面白い! ~保育って素敵な仕事~」。

保育科生のみならず保育科教員も学生と同じようにわくわくしながらこの日を心待ちにしていました。

保育科1・2年生、本学附属の認定こども園の保育教諭の方々、本学非常勤講師の方々を含めて約350名が参加しました。

宮里先生ご自身のご経験やこれまでの研究、保育の中で出会った子どもたちとのエピソードを交えながら、「子

どもがし始めたことを大切にする」という保育の在り方を私たちに教えてくださいました。子どものことを語る宮里先生の表情からも、保育の面白さがたくさん伝わってきました。

明るく柔らかな雰囲気で会場を包み、温かく愛情に溢れた宮里先生の言葉に、全員が魅了された時間でした。特に、保育科2年生は教育実習を終えたばかりということもあり、学び多い時間となったようです。



最後に、宮里先生のお言葉を紹介します。

“子どものつぶやきに
耳をすませ 目をこらす生活
ふふっと笑う はっ!と我に帰る
そんな瞬間を大切に
保育って 面白い!”

講師



お茶の水女子大学
お茶大アカデミック・プロダクション
寄附講座教授
宮里 暁美 先生

NEWS

上田信行先生による保育講演会を開催

同

同志社女子大学名誉教授
上田信行先生をお招きし
て、令和6(2024)年10月25日に
ワークショップを開催しました。

上田先生は「プレイフル・ラーニン
グ」をキーワードに、学習環境デザイ
ンに関する研究をされており、全国
各地でユニークなワークショップを
開催されている先生です。

“プレイフル”とは、物事に本気で関
わっているときに感じるワクワク・ド
キドキ感のことであり、好きなことを
やっているときに感じる興奮と楽し
さのこと、と上田先生は話されます。

今回のワークショップのテーマは、
【楽しさのなかにうまれる学びの本

質〜プレイフルでいこう!〜】と題し
た「未来への学びをデザインする」で
した。

学生の感想からは、「何事にも本
気で、全力で楽しんで取り組んだら
世界が開けるかもしれないなと思い
ました」「“Unlock Your Potential!
(可能性を解き放て!)”自分が動け
ば世界は変わるのだと改めて知るこ
とが出来ました」というポジティブな



声がいくつも聞かれました。

上田先生、パワーあふれる“プレイ
フル”な学びのひとつを、ありがたう
ございました!

講 師



同志社女子大学 名誉教授
上田 信行 先生

NEWS

大友剛氏による特別授業を行いました

令

和6(2024)年11月30日、
ミュージシャン&マジシャ
ン&翻訳家である大友剛氏をお招
きし、音楽療法士2種・こども音楽療
育士の資格取得を目指す学生を対
象に、特別授業を行いました。テーマ
は「即興演奏法〜音楽とは?自由と
は?楽しいとは?〜」。

大友氏が自由自在に奏でるピアノ
の素敵な音に惹きこまれ、まさに音
楽の楽しさを体感した3時間でした!
授業の中で、「音楽」という言葉は、音
を楽しむという意味で漢字が当ては
められたのではなく、音楽が人をうれ
しい気持ちにしてくれたり、音楽をす

ることで笑顔になったりすることから
「たのしい」という意味に「楽」が使
われるようになったことを教えていた
だきました。だから、音楽は絶対に楽
しいものであってほしいという大友さ
んの想いを、学生たちはしっかりと受
け取ったようでした。

簡単にできるマジックや歌を引き
立てる伴奏の方法等も教えていただ
き、実践につながる学びが多くありま
した。

最後に、大友氏が翻訳された絵本
「カラーモンスター」を読んでいた
きました。

温かい音楽とやさしい語りが心

に響き、感動で涙が溢れ出す学生も
……大友氏、素敵な時間をありがた
うございました!

講 師



ミュージシャン&
マジシャン&翻訳家
大友 剛 氏

現代ビジネス科の一年間の取り組み

MESSAGE

地域とともに深化する—現代ビジネス科の新たな挑戦—



現代ビジネス科学科長
黒野 伸子

現

代のビジネス環境は急速にデジタル化が進んでおり、企業や社会が求めるスキルも多様化しています。このような変化に対応べく、現代ビジネス科では教育の質をさらに向上させ、様々な取り組みを進めてまいりました。今年度は、地域業界との連携や実践体制の充実を図り、実践的な学びの場を提供しています。その結果、今年度も公務員、大手金融機関、宮崎県内の優良企業、国公立病院、医療機関など、多様な分野で多くの内定をいただくことができました。実務に直結したカリキュラム、企業・行政機関との協働による実践的なプロジェクト等が、学生を支え、成長を促してくれました。学生たちは確実にキャリア形成に必要な力を身に付けていると実感しています。

このような多様化時代に対応す

るため、令和7(2025)年度より、現代ビジネス科では、より実践的で多様な学びの機会を提供する8つの新たなコースを設置します。設置するのは、「ソーシャルメディアデザイン」「情報クリエイティブ」「観光・ホスピタリティ」「司書・オフィスワーク」「メディカルマネジメント」「経営・マーケティング」「異文化コミュニケーション」「グローバルコミュニケーション」の8コースです。ビジネスの最前線で求められる幅広い知識やスキルを修得できるよう、「ブレンド&チョイス」で、コースを横断して授業を履修することができるようなカリキュラムとなっています。また、「スキルアップユニット」という科目群を新設し、多種多様な学びを深める科目を配置するほか、大学編入対策講座も開設し、8コースの専門性を活かした4年制大学への編入も可能となっています。

また、本学科は宮崎大学、宮崎国際大学、南九州大学と連携した「SPARC(地域活性化人材育成事業)」及び「大学の世界展開力事業」に参画しています。令和7年度からは4大学が連携して開設する科目(連携開設科目)がスタートし、他大学の学生や海外の学生たちと共に学ぶことで、コミュニケーション力や、臨機応変な対応力といった能力が培われるのではないかと期待しています。

本学に入学する学生の多くは、現代ビジネス科でより多くの資格を取得することが就職に有利と考えて学修してきました。一方で、実際に企業の皆さまの話を伺うと、資格取得だけでなく、情報収集力や問題解決力、コミュニケーション力といったスキルも重要で、それらを使ってどう課題解決をしたかといったことを学生時代に学んでほしいと言われます。これまで現代ビジネス科では、地元宮崎の企業の皆さまや他大学と連携した事業を積極的に取り組む中で、様々な課題について考え、それらをどう解決していくかを学友とともに考える機会を増やし、今後VUCA(予測困難な)時代を生き抜くことができる人材を育成する教育へのシフトチェンジを行ってまいりました。令和7年度からの新体制では、さらにバージョンアップし、新たな挑戦に挑む予定です。今後も挑戦し続ける現代ビジネス科としてあり続けま

すので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

REPORT

地域PBL授業で「人づくり」に取り組む

地

域PBL型授業「実践ビジネス演習Ⅰ・Ⅱ」では、学生たちが地域貢献や地域活性化を目的として、今年度3つの実践的なプロジェクトに取り組みました。

①小学1・2年生のためのプログラミング講座

宮崎科学技術館において、Scratchを使ったプログラミング体験講座を学生たちが企画し、実施しました。小学校低学年の子どもたちに「プログラミングの楽しさ」を体験してもらい、プログラミング学習への関心を高めていくことで、宮崎における将来的なIT人材の育成に貢献していきたいと考えています。

②三股町の非公認キャラクター(パ

マさん)の展開

三股町の「住みやすい」イメージを構築・発信するため、学生たちが三股町を応援する非公認キャラクター「パマさん」を発案し、ポスター、シール、自動車ステッカーを作成しました。「地域を盛り上げるために学生の立場で何ができるか」をテーマに、その地域の「らしさ」を明確にし、地域のイメージを構築し発信する地域ブランディングに取り組んでいます。

③住みよい町づくりのための特殊詐欺防止講座

安心・安全に生活できる住みよいまちづくりをテーマに、「特殊詐欺防止講座」を学生が一から企画しまし

た。寸劇や替え歌を披露し、地域の皆さんに防犯の重要性を伝えつつ、交流を図りながら地域の課題について傾聴しました。地域の皆さんからの反応やフィードバックを今後の活動に反映していきます。



NEWS

UMKテレビ宮崎とのコラボ企画が実現

U MKテレビ宮崎と現代ビジネス科のコラボ企画「ドローンデモフライト体験」を、春・夏のオープンキャンパスで実施しました。この企画は、UMKテレビ宮崎と本学が包括連携協定を結ぶにあたって実現した企画です。参加した高校生は、UMKの方々の優しく丁寧な指導のもと、緊張した面持ちで実際のドローンを操作していました。令和7年

度より開講予定の映像撮影論では、UMKの方々のご協力を仰ぎ実践的な学修を予定しています。



REPORT

医療現場を支える力を育む—未来の医療事務人材を目指して—

医 療機関のニーズに対応できる優秀な医療事務職員を、現代ビジネス科メディカル秘書コースでは養成しています。その成果は高い就職率として表れており、国立病院機構、地域医療機能推進機構、宮崎県内大手病院等多くの医療機関から求人をいただいています。「医療事務」「医師事務作業補助」「医療秘書」「各診療科受付」「総務・人事」等業種も様々で、希望の職種を選択

できるようになってきました。

近年、医療業界ではICT化の推進、医師事務作業の代行、医療情報管理など、大きな変革が進んでいます。最先端の業務を担う事務職員の役割はますます重要になっており、これらを遂行するには、保険請求の知識だけでなく、幅広い医療知識も必要です。本年度の医療機関実習では、受付業務、電子カルテ入力、病棟業務など、多彩な業務を学ぶ機会が

ありました。患者さんと接する場面も多く、実習を通じて貴重な経験を積むことができた実感しています。

来年度からは、医療業界の変化に対応すべく「メディカルマネジメントコース」としてリニューアルします。今後も、学生がより良い学びを得られるよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



▲学生の様子



▲医療機関実習



▲授業風景

REPORT

コミュニケーションデザイン演習Ⅱ

現

代ビジネス科では、科目「コミュニケーションデザイン演習Ⅱ」において、表現方法の習得に加え、Adobe IllustratorやPhotoshopなどのデザイン専門ソフトの活用スキルを習得しています。これにより、デザインスキルの向上を図り、魅力的で効果的なビジュアルコンテンツを制作する能力を身につけています。

▼学生作品



現代ビジネス科2年 鶴田 季也



現代ビジネス科2年 金丸 こころ



担当教員



現代ビジネス科准教授
河野 美香子

専攻科(福祉専攻)の一年間の取り組み

MESSAGE

多くの出会いと引き継がれた地域貢献への想いを大切にしたい「最終章」



専攻科(福祉専攻)主任
桑迫 信子

春

の訪れを感じる3月ー。令和8(2026)年度から専攻科(福祉専攻)の学生募集停止が告知されました。平成10(1998)年度に開校された専攻科(福祉専攻)の長い歴史と共に関係者の功績と奮闘を思い、深い敬意と感謝を抱きつつその対岸では呵責の念が広がりました。

今年度の専攻科生15名も、ベッドや機械浴等を使い生活支援の演習を行いました。教室では、認知症や社会制度などを学び、介護過程に悪戦苦闘していました。27年前と同じ授業風景だろうと想像します。また、平成27(2015)年度から本学カリキュラムに加わった「医療的ケ

ア」では、喀痰吸引や経管栄養について医療職と連携する力を身につけられるよう繰り返し演習する姿がありました。このように変わらぬ環境で学修できるのは、学生を応援してくださるご家族の皆さまや約1,000人に及ぶ修生ならびに教職員の想いに支えられてのことと感謝しています。寂しい限りですが、令和7(2025)年度の学生を見送る日まで介護福祉教育に力を尽くしてまいります。その間、ぜひ多くの関係者の方々に遊びに来ていただきたいと思っています。

実習においては、コロナ禍での経験を活かし不測の事態にも対応できるよう身構え、スケジュールを進めてまいりました。医療や介護現場では感染対策に対して変わらぬ緊張感があるなか、脆弱な高齢者を護る立場にあって、ギリギリのところまで実習生を受入れてくださった施設関係者の方々に心より感謝申し上げます。やむなく学内代替実習になった学生もいましたが、いかなる状況も大切な学びです。思い通りに進まぬジレンマをメンバーと共有し、保健衛生の重要性と共にめまぐるしく変化する社会への対応力や、自己の役割と責任の重さについて身をもって

学習したことと思います。

また近年、警報級の災害が発生しており、見通しをもった対策はもちろんですが先送りする考えも安全上必要だと感じているところです。今年度は実習期間中に線状降水帯発生による休校がありましたし、最大震度6弱の巨大地震が起きたのは学生が帰宅する前後の時間帯でした。全員の無事を確認でき、それぞれのご家庭や学校への被害がなかったことが幸いでした。

瞬間の10か月を過ごし、1月には国家試験を迎えました。厚生労働省によると、令和5(2023)年度の実験者数は74,595人で、合格率は82.8%と示されました。本学のような養成校ルートのうち受験者数10名以上の施設は全国244校で、25名が受験し100%合格した本学の総合評価は、全国5位層のランキング¹⁾でした。誇らしく嬉しい限りです。試験対策にくわえ、皆で過ごした濃厚な時間が学生それぞれの自信となって今後の人生を支えてくれるよう残り1年間も支援してまいります。

1) 厚生労働省(参考資料)第36回介護福祉士国家試験養成施設別合格率<https://www.mhlw.go.jp/content/12004000/001230247.pdf> (2024年12月12日閲覧)

2) 久永草太『歌集 命の部首』本阿弥書店、2024年、139p)

ロゼットは春待つかたち床じゅうに教科書ひらくその野に眠る²⁾

タンポポなどの植物は、葉を放射状に広げ(ロゼット)厳しい冬を乗り越えます。教科書やノートを広げ厳しい国家試験に向かう専攻科の学生達にも、凛と伸び可憐な花咲く春の訪れを願ってやみません。

天を向き春待つつぼみ膨らみし付箋とラインきみのロゼット(筆者)

STUDENT LIFE

専攻科(福祉専攻)の1年間

入学式 (4月7日)



◀ 15人で気持ちを新たに
して新年度をス
タートさせま
した。



春の忍ヶ丘祭 (4月20日)



▲ 先生方を巻き込んで専攻科全員で楽しむことができた。



▲ 入学したばかりの時期でしたが、リレーや借り物競争を行い、15人がONE TEAMになって、団結力、チームワーク力が身につきました。

交流会



▲ 保育科2年生を対象に保育実習での体験談を話しました。また、専攻科での生活についても話し、専攻科を知ってもらおう良い時間になりました。

保育講演会



▲ 相手の顔のパーツを観察し、皆でひとりの似顔絵を描きました。子どもの想像力を豊かにできる関わり方を学びました。

授業風景



▲ 5人ずつのグループに分かれて、高齢者によく見られる病気について話し合い、「なぜ？」から連想ゲームのように理解を深めていきました。



◀ 勉強! 勉強!
の1年。
試験に向けて
気を引き締め
て頑張りました。



演習風景

車いす介助

▲初めて車いすに乗って外に出ました。
砂利の上での移動は不安が大きかったです。



▲言葉を掛けることで利用者さまが安心できることを学びました。



歩行介助

▲障がいのある人の目線に立つことで、何が不安で、何に困っているのかを理解することができました。



施設実習

▲緊張しましたが、利用者さまからの「ありがとう」の言葉に介護のやりがいを感じました。



ベッドメイキング

▲最初はとても難しかったですが、何度も練習をするうちに、シワのないきれいなベッドにすることができるようになりました。



手浴

▲丁寧な手浴により、安心感やぬくもりを感じることができました。



機械浴

▲利用者さまにとっての入浴の大切さを知ることができました。



洗髪

▲ベッドを濡らさないことと利用者役が寒気を感じないように手早く行うのがすごく難しかったです。

医療的ケア



▲喀痰吸引の演習では、みんなで手順を確かめ合いながら実践することができました。



調理実習で、筑前煮・伊達巻・すまし汁・栗きんとん・花びら餅を作りました。味付けも盛り付けもばっちり！

調理実習



全員で取り組んだ『お化け屋敷』大成功！

秋の忍ヶ丘祭 (10月19日)



▲15人全員で本番まで協力・協力！
もっといいものを作ろうと試行錯誤しながら頑張りました。



▲専攻科一丸となって1つの作品を作り上げることで、
クラスの絆が生まれました!!



【ミヤタン教員の研究を紹介します】

研究室レポート

Pick up
01

楽しさと、
便利さと、驚きを
——HCIで考える、
人と情報の関わり

報告者



現代ビジネス科
教授 伊賀 彩子

私は、人とコンピュータがどのように楽しく、便利に関わるかを探求しています。ゲームやスマホアプリ、AIアシスタントなど、私たちは日々さまざまな形でコンピュータと接しています。それらをもっと快適に、時には驚きや楽しさを感じながら使えるようにするにはどうしたらよいか——そんなことを研究するのが「ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)」という研究分野です。

例えば、高齢者と一緒に散歩することで高齢者の健康を維持するパートナーロボットの研究を行っていました¹⁾。人と移動するロボットを開発することは可能ですが、高齢者の身体的な状況を理解せずに設計すると、運動負荷が弱すぎたり、逆に過度な負担をかけたりしてしまうリスクがあります。それに、ロボットに無理やり引っ張られたり、運動するよう命令されたりしたら、嫌な気分になりそうですね。技術だけではなく、人間の心理や行動特性を理

解し、それに寄り添うデザインが必要になります。

他にも災害時に最適な避難ルートを表示しながら避難を促すシステムの開発に関する研究も行いました²⁾。ここでも、人間がコンピュータとどう関わるかが重要なポイントとなります。このシステムは、リアルタイムで収集される災害に関するデータを分析し、安全な経路を迅速に提示するものです。しかし、単に情報を提示するだけでは十分ではありません。緊急時に人が直感的に理解できる表示方法は何か、音声通知や視覚的アラートを組み合わせるべきか、どのような仕組みを作れば実際に「避難行動」にうつりやすいのか——こうしたことを解明することが必要になります。

このように、人とコンピュータとの関係を深く理解しながら、より良い体験を生み出すことがHCIという研究分野の重要な役割です。そして今、この分野で特に注目



されているのが「ビッグデータ」と「AI」の活用です。

私たちの身の回りには膨大なデータが存在しています。スマホの操作履歴、健康管理アプリの記録、オンラインショッピングの購入履歴など、日々の行動がデータとして大量に蓄積され、それらをAIが分析することで、より快適で便利なサービスが生まれています。例えば、音楽アプリがユーザーの好みに合った曲を提案したり、スマートスピーカーが家族の生活リズムを学習して最適なタイミングで天気予報を知らせたりするのも、その一例です。

一方で、AIは単に効率を上げるだけで

はなく、人の創造力を広げるツールにもなり得ます。例えば、アイデアを出すときにAIがヒントを提示したり、デザイン作業の補助をしたりすることで、新しい発想を生み出す手助けができます。私が現在取り組んでいる研究でも、情報技術を駆使しながらAIを活用し、人がより自由に発想しやすい環境を作る試みを行っています³⁾。

これからの時代、データと情報、そしてAIをどう活用するかが新しい価値の創造につながります。ただ便利だけでなく、人が楽しく、意欲的に使える技術とは何か。その問いを考えながら、研究を続けています。



▲写真 人が快適に、そして驚きや楽しさを感じられるようなものを創造するには？

- 1) An Interactive Supporting System for Senior Persons by Pet Robots, SCI2002
A Robot Collaboration Methodology for Immediate Evacuation from Landslide,
- 2) EAME2015, pp.353-356
- 3) 心理的所有感に配慮した発散フェーズにおけるアイデア発想支援, HIS2024, pp.730-735.

Pick up
02

看護と研究と 教育のつながりに 今思うこと

報告者



専攻科(福祉専攻)
准教授 桑迫 信子

実習と記録に追われる学生生活を終え、解放感と希望に満ちた内科病棟勤務がはじまりました。勤勉でなかった代償として反省ばかりの新人でしたが、その当時の出会いと経験は大切な私の一部になっています。例えば、突然の発症で「眠り方を教えて」と苦しんだ若者、夕暮れを眺めながら「死ぬのが怖い」と告げた男性、衰弱しているにもかかわらず自傷行為をおこした老女など、その時をみんな必死に生きていました。そして、白衣の鎧で戸惑いと緊張を隠しながら、命と真剣に向き合っている方々に対し逃げずに受け止められる強い人になりたいと思ったものです。何十年経過してもなおこれらの記憶が反芻されるのは、未熟な私に対する彼らからの問いであり、それらを無駄にせず生きた証として伝える使命を与えられているように感じます。

看護教育にたずさわるようになった私は、“揺さぶられた感情は記憶に残る”という経験を基に、命をテーマとする語り合いの機会を設けました。看護学生には、相手の身体的・精神的・社会的苦痛に直面する時が必ずきます。その準備として、1年生後期の段階で学生同士が命について自由

に語り合い、他者の意見を聞くことをねらいとしました。さらにその効果を検証し、教育に還元できるよう学生へのアンケート調査を実施しました¹⁾。その一部を紹介します。

1.対象:病院見学実習のみ経験した看護学1年生(以下、初期学習者とする)154人。

2.目的:「情意領域」への学習効果を検証し看護教育への示唆を得る。

※「情意領域」とは、看護師養成機関における認知・情意・精神運動の三領域からなる学習構造のひとつ(『保健師助産師看護師学校養成所指定規則』に則る)。

3.方法:平井 他(2000)の開発した「臨老式死生観尺度」²⁾を用いたアンケート調査の実施と比較・分析。

※命をテーマにした資料をもとにグループワークを5回実施し、1回目のグループワーク前と5回目のグループワーク後にアンケートを2回実施する。

4.結果:①初期学習者は死を現実のものとして受け止められておらず、死への恐怖や不安が強かった。

②初期学習者は、命の大切さや生

きる意味について考えることを
貴重な体験だと感じていた。

③協同学習終了後には価値観の多
様性に気付き、自らの命に対する多
くの肯定的意見をもった。

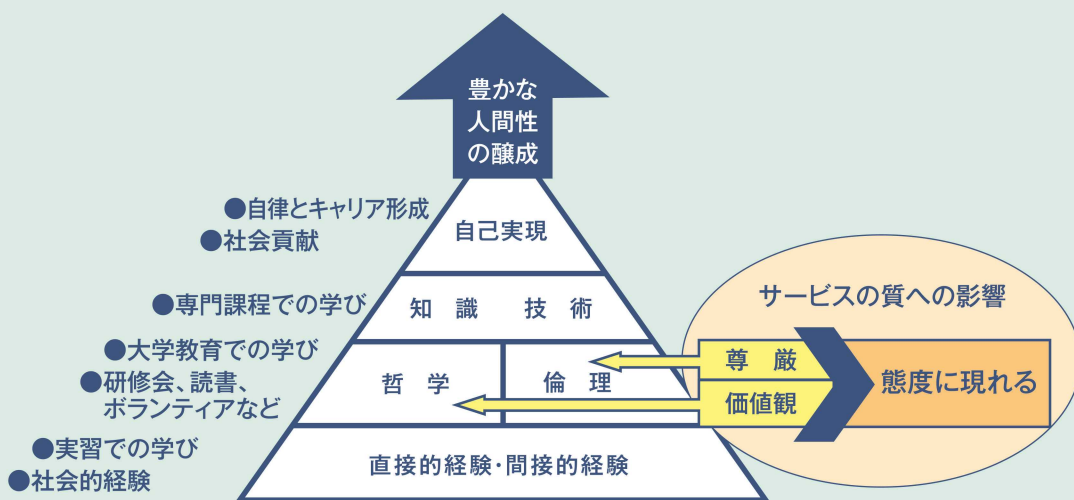
このように社会経験の少ない学習者が
命を語り合った時間は、多様な他者の意見
を聞く貴重な体験と感ずることができたと
同時に、自分の命を大切に思う機会になっ
たことが分かりました。

現在の介護福祉士養成教育に移行して
もなお、対人援助職に将来像を描く学生
に対し相手に触れることの意味と生命や
存在価値を尊ぶことの重要性を使命とし

て伝えています。

むすびに、対人援助職に対する社会の
期待について私見を述べます。一般的に、
正しい知識や安全な技術の提供は一定の
成果として受け止められ、サービス提供者
の人間性が満足度評価に繋がるものだと
思っています。その意味においては、専門
課程での学びにくわえ、旅行や読書、講演
会やボランティアへの参加など、学生が間
接的・直接的に感性を刺激される社会学
習の機会をもち、他者の生きる世界やそ
の時の気持ちを客観的に想像できる力を
育ててほしいと思います(図参照)。

それらを可能とするのが学生時代の魅力
であり、大学で学ぶ意義ではないでしょうか。



▲図 対人援助職の人材教育課程

- 1) 桑迫信子(2018)「情意領域育成を目指した終末期教育の授業開発」宮崎学園短期大学紀要、11、31-41.
- 2) 平井啓、坂口幸弘 他(2000)「死生観に関する研究—死生観尺度の構成と信頼性・妥当性の検証—」死の臨床、23(1)、71-76.

新教職員紹介



川越 勇二

現代ビジネス科

豊かなことばの使い手に

今年度より、現代ビジネス科の教員として勤務しています。また、宮崎国際大学の教員、宮崎学園図書館の館長も兼ねております。授業では日本語表現、スタディ・スキルなどを担当しています。自分の考えを自分のことばでしっかりと伝えることのできる社会人を育てたいと思っています。ことばの獲得は、人間の思考に深く関わるものです。ことばに対する認識の貧しさから、現代ではさまざまな人間関係のトラブルが生まれているように思えます。SNSなどによる誹謗中傷もその一例です。学生の皆さんには、授業を通じて日本語の魅力や奥深さに触れ、ことばに対する鋭敏なアンテナを身につけ、豊かなことばの使い手になってほしいと願っています。



伊賀 彩子

現代ビジネス科

未来への一步を後押し

今年度より現代ビジネス科の教員として、情報処理概論、情報処理演習I、プレゼンテーション概論、実践ビジネス演習などの科目を担当しています。大学院時代から、情報技術でさりげなく人を支援する仕組みについて研究してきました。教育現場においても、AIをはじめとする最新の情報技術を活用し、課題を発見・解決する力や、仲間と協働して新たな価値を創造する力を育むことを重視しています。学生たちが自分の考えを徐々に表現し、新たな挑戦を通じてできることを増やしていく姿を見るのは、とても嬉しい瞬間です。学生一人ひとりの可能性を引き出し、未来への一步を後押しできるよう努めてまいります。



長尾 清美

現代ビジネス科

まわり道から学ぶ

今年度より現代ビジネス科の教員として、マーケティング、デジタルマーケティング、販売学総論II、経営学総論、基礎経済、ビジネス実務総論II、スタディ・スキルIaなどの講義を担当しています。高校卒業後株式会社ダイエーに入社し、オーディオ課に所属しました。そして、マーケティングや商業について学問として学びたいと思い、3年後大学に入学し、卒業後大学院に進学しました。学位を取得後、関東の大学などでSPI・適性検査対策と公務員試験対策の講師や、大学で商業史の非常勤講師を務めました。今までの経験と研究を生かして、学生に学ぶ楽しさを伝えられたらと思います。希望と夢いっぱい! どうぞよろしくお願いいたします。



宮本 世利子

学生部

きめ細やかな学生支援を

令和6(2024)年4月より、宮崎学園短期大学学生部で学生支援業務に就いております。これまでは宮崎学園高等学校の入試広報で主に生徒募集業務に就いていました。高校から短大へ異動し、業務内容も「生徒募集」から「学生支援」に変わりましたが、学生の皆さんが「本学に進学して良かった」と思えるような充実した学生生活を送ってほしいという思いは同じです。一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな学生支援を目指し、学生の皆さんにとって身近な頼れる存在になれたらと思っています。自分の夢や目標に向かって頑張る皆さんを全力でサポートしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



北林 真由子

教務部

新たな気持ちで

令和6(2024)年4月より宮崎学園短期大学教務部に異動してまいりました。入職以来、8年ほど宮崎国際大学入試広報部におりましたので、久方ぶりに新入社員のような気持ちで業務に努めております。以前の「高校生の進学をサポートする」という仕事も楽しく従事しておりましたが、教務部における「入学後のサポート」という立場もやりがいを感じております。短大・大学は高校までと違い、自分で履修計画を立てていかなければならず、学生の皆さんは資格取得など含め大変気を使っていることと思います。学生の皆さんにとって分かりやすい履修指導やシステム作り、そして、円滑な学校運営に貢献できるよう試行錯誤していきたいと思ひます。



水崎 沙織

教務部

円滑な学修環境の提供を

令和6(2024)年4月より教務部書記として勤務しております。履修登録や公欠、資格申請などの手続きをはじめ、時間割や試験、成績処理に関することといった学生さんの毎日の学修を支える業務を行っております。学生の皆さんが円滑に学修できる環境を提供し、卒業や資格取得に必要な単位を取得できるよう、全力でサポートしていきたいと考えています。そして、勉強はもちろん大切ですが、貴重な学生時代には様々な活動を通じてたくさんの思い出を作り、楽しい学生生活を送ってほしいと思います。これからの社会で活躍するために努力している皆さんを、心から応援しています。どうぞよろしくお願いいたします。



持原 圭吾

入試広報部

しゅ は り 守・破・離

令和6(2024)年5月より入試広報部で勤務しております。前職は航空自衛隊のパイロットをしておりました。突然ですが、皆さんは「守破離」という言葉をご存じでしょうか？ これは、武道や芸術の修行過程における思想で、まずは基本を守る「守」、次に既存の型を破る「破」、最後に自分自身の型を確立する「離」の三段階を意味します。飛行機乗りは職人気質な部分があるため、この思想にとっても共感しています。この考え方を入試広報の仕事にも活かし、広報職員としての基礎をしっかりと身につけ、既存の方法にとらわれず、柔軟な発想で自分なりのスタイルを確立していきたいと思っています。まだまだ学ぶことが多いですが、日々成長しながら、入試広報部に貢献できるよう努力してまいります。



高山 和歌菜

入試広報部

信頼される情報提供を

令和6(2024)年4月より入試広報部で勤務しています。私の役割は受験生や保護者の皆様、また、地域の方々に向けて入試情報や大学の魅力をわかりやすくお伝えすることです。これまでの多様な業務(総合案内所・医療事務)を通じて培ったコミュニケーション能力や問題解決力を活かし、入試広報部の一員として貢献できることを大変嬉しく思っております。大学の教育理念や特色をしっかりと理解し、信頼される情報提供を心掛け、より良い広報活動を展開できるよう努力いたしますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

2024年度公開講座

今年度、開催された講座はどれも、幼稚園・認定こども園に勤務される方のキャリアアップ研修に該当するということもあり、県内各地から本学卒業生も含め、多くの方々にご参加いただきました。

12月「脳科学から見た幼児教育」

ハイブリッド開催により、対面とオンラインで多くの皆さまにご参加いただきました。初めに、人類の脳の進化や脳機能の研究から示されるデータを見て脳の基礎について知り、次に、脳科学から見た乳幼児期の関わり方の重要性について、村上学長のお孫さんの動画等を交えて学びました。参加者からはもっと拝聴したいという感想もいただきました。



講師：村上 昇

12月「子どもの学びを可視化する保育ドキュメンテーション」

—子どもとの出会いなおし、子どもが生きる世界から保育のありようを考える—



予想を超える参加者数で場所を移動しての開催となりました。山下先生の研究や海外視察に基づく丁寧な資料をもとにドキュメンテーションについて学んだ後、各自が持ち寄った写真からドキュメンテーションを作成するという演習が行われ、活発な意見交換が印象的でした。



講師：山下 愛実

1月「発達障がいの基本的な理解と支援—落ち着きのない子どもを中心に—」

保育教諭や福祉施設の職員、行政の方など、様々な方面から多数のご参加をいただきました。初めに、小学生や5歳児の、対応に苦慮した子どもの現状が語られたあと、主にADHD(注意欠如／多動性障がい)の子どもの行動の特徴、脳の神経伝達について、対応策や支援方法を学びました。松田先生の専門家としての、子どもとの関わりから導き出された見解など、とても興味深いものでした。



講師：松田 昭憲

こども家庭庁のスローガンである「こどもまんなか社会」が実現するためには、子どもに関わる多くの大人がこのような学びの場に参加し、知識を身につけ、実践に活かしていくことが求められると思います。そのような背景から、宮崎県保育連盟連合会、宮崎県幼稚園連合会、全国認定こども園協会宮崎県支部、宮崎県教育委員会、宮崎市教育委員会、UMK

テレビ宮崎、NHK宮崎放送局、MRT宮崎放送、宮崎日日新聞社に後援をしていただきました。この場を借りて、お礼申し上げます。今後の展望は、様々な方面からのご協力も賜りつつ、本センターから多くの学びの場を提供していくことです。今後ともご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

(幼児教育・保育センター委員 小澤真美子)

一人ひとり、
自分らしく

こども音楽教育センターの活動

音や音楽が“うまれる” 音や音楽で“つながる”

本センターでは、障がいの有無にかかわらず、多様な感覚を使って音や音楽を体験することや、一人ひとりが自分らしく表現し、豊かに音楽を創り上げていくことを大切にしています。幼児から社会人まで幅広い年齢層の方が約100名在籍しており、その中には20年以上通い続けてくださっている方が10名以上いらっしゃいます。好きな音や音楽をたくさん見つけ、いろいろな先生や仲間と出会い、音楽が日々の楽しみとなっている姿を見ると嬉しく思います。

私はセラピストとして11年目を迎えますが、毎年、新た

な人、音や音楽との出会いがあり、そのたびに音楽のもつ豊かな力を実感しています。一人ひとりが自分の感覚をと おして音や音楽を味わい、自分らしく表現しながら、音楽の楽しさを共有できる時間は「幸せ」の一言に尽きます。センター利用者のみなさまと共に音を紡ぎ、音楽を創り出す中で、私自身も音楽の魅力と可能性を再発見する日々です。

これからも人と人とが音楽でつながり、自分らしく表現できる場所であり続けたいと思います。

(星崎 明里)

それぞれ自分で選んだ楽器で、
大好きな曲を仲間と共に♪



音楽を聴きながら
みんなて繋いだ
色とりどりの円、
青空に映えてきれいだね♪



いろいろな楽器で
思い切り
表現するよ!



幼児教育・
保育センター主催

開催しました!



こどもと地域がつながる場づくり
～これからの一歩へ、キックオフ!～

好評のうちに終了



参加者のみなさん、
ありがとうございました!



令和6(2024)年度の 活動状況をお知らせします



キャンパス内で子宮頸がん検診を実施しました

令和7(2025)年1月に宮崎市の保健事業の一環として、キャンパス内で子宮頸がん検診を実施しました。宮崎県は子宮頸がんの発症率が高い

ものの、検診率は低いと言われています。校内で実施することで検診を身近に感じその必要性、重要性を知る、自分を守る意識を持つきっかけになっ

たのではないのでしょうか。短大・国際大学それぞれの学生教職員に多数検診を受けていただきました。どうぞ皆さん、検診を習慣にしてください。

リクライニング車いすを購入しました

令和6(2024)年度、保健管理センター管理の「リクライニング車いす」を購入していただきました。リクライニング可能ですので、気分が悪くなっ

た方に負担をかけることがない態勢で移送できるようになりました。ノーパンクタイヤの仕様となっていますので、地震等災害時などにも使用可能で

す。使用頻度が少ないに越したことはありませんが、大切に使用させていただきます。

メンタルヘルス・ポータルサイト「こころの耳」をご存じですか？

厚生労働省の調査によると、うつ病患者は100万人を超え、仕事上で強い不安や痛みを抱えている人も6割以上となっているという統計が出ています。まさに今、職場での心の病への対策が必要とされていると言えると思います。

この現状から働く人の心の健康確保と自殺・過労死予防

のため、厚生労働省はメンタルヘルス・ポータルサイト「こころの耳」を開設し、メンタルヘルスの総合的な知識や情報を掲載しています。

メンタル的な不安や悩みを抱えている人や、その周囲の人、事業主やメンタルヘルス対策にかかわる人などなどでも利用できます。悩みがある

時、困った時の助けになる情報があるかもしれません。相談機関も紹介されています。メンタルに問題を抱えていない方もどうぞ一度覗いてみてください。

こころの耳
働く人の
メンタル
ヘルス・
ポータル
サイト



2024
年度

オープンキャンパス報告

- 第1回オープンキャンパス 令和6年5月18日(土)
- 第2回オープンキャンパス 令和6年6月22日(土)
- 第3回オープンキャンパス 令和6年7月20日(土)
- 第4回オープンキャンパス 令和6年8月24日(土)
- 第5回オープンキャンパス 令和7年3月23日(日)



わたしたちが
運営しました

ミニ体験ブース



▲赤ちゃんのお世話体験



▲パラバルーン遊び

ミヤタンに
戻って来てね～

UMKテレビ宮崎との
コラボ企画が
実現!



大学概要紹介



UMKコラボ企画

「ドローン体験会」



在学生との交流



特別講座



▲小論文対策講座



▲面接対策講座



イベントプログラムは
他にも

保護者のための説明会

選抜試験紹介

2025年
オープンキャンパスのご案内

詳しくは
本学ホームページで
チェック!



宮崎学園図書館の活動

2024年度も通常の貸出業務に加えて、さまざまな展示やイベントに取り組みました。

季節や行事に合わせて 展示しています

5月 こどもの日



7月七夕



12月 クリスマス



2月 節分



卒業後も利用できます！

卒業生の皆さん(県内在住)は、学園図書館を引き続き無料で利用できます。館内閲覧はもちろん、貸出や予約、AV視聴も可能です。ぜひご活用ください。

※初回はカウンターで登録(無料)が必要。



ぎんまる君



古本市



読み聞かせ講演会
(2023年実施)

保育関連の本が揃っています



保育所・幼稚園実習関連本



手作り玩具製作本

学生の作品を展示しています

保育科



現代ビジネス科



飲食専用コーナーリニューアル

テーブルやソファ等を入れ替え、ロールスクリーンを取り付け、より過ごしやすい空間になりました。



手作り玩具



コミュニケーションデザイン演習Ⅱ
「わたしの好きなミヤタン」

バリアフリー機器・用品導入

どなたでもご利用できます。お手伝いが必要な場合は、お気軽にお声掛けください。



拡大読書器



書見台



筆談用ボード&
電子メモパッド



りんごのたな

サイトを
リニューアル
しました

図書館からのお知らせや特集・新着情報は、こちらからチェックできます。

図書館HP



(蔵書検索)



宮崎学園図書館

住所: 宮崎市清武町加納丙1415
電話番号: 0985-85-1410

開館
時間

	通常期	休業期
曜日	8:30~18:30	9:00~17:00
平日		
土曜日	9:00~13:00	休館日

貸出

資料	冊数	期間
図書	20冊以内	28日以内
AV資料・雑誌・漫画	各5点以内	7日以内

※返却日を2週間過ぎると、延滞料金が発生します。

令和6(2024)年度

就職状況中間報告

キャリア教育センター(令和7(2025)年1月31日現在)

情報通信業

九州情報機器コンサル

卸売・小売業

セブンイレブンジャパン、アイトップ、ネオキャリアBPOセンター

医療・福祉業

独立行政法人地域医療機能推進機構、宮崎県医師会、宮崎県薬剤師会、宮崎生協病院、竹内病院、金丸脳神経外科病院、和田病院、みやかわ小児矯正歯科医院、橘病院、南部病院、新城眼科医院、たかぎ耳鼻咽喉科医院、杉本病院、柳田病院、宮崎江南病院

金融・保険業

宮崎銀行、宮崎太陽銀行、高鍋信用金庫

製造業

ミネベアアクセスソリューションズ、児湯食鳥、ダイハツ九州、清水製作所

運輸業

宮崎交通

宿泊・飲食サービス業

フェニックスリゾート、アメイズ、グリヤード

サービス業

ネオキャリア、For A-career

生活関連サービス業

ハートネイル

幼稚園

あおぞら幼稚園、南ヶ丘幼稚園

【県外】 若松天使園

こども園

【幼稚園型】 第一幼稚園、田野カトリック聖母幼稚園、東海幼稚園、日向カトリック幼稚園、聖心ウルスラ学園附属幼稚園、富高幼稚園、都農聖愛幼稚園、みまた幼稚園、大王谷幼稚園、清涼幼稚園

【県外】 のだ山幼稚園

【幼保連携型】 宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園、日向こども園、希望ヶ丘こども園、西都ふたば保育園、さかえこども園、花笑みずずらんこども園、加納ひまわり幼保園、吉野保育園、アリスこどもの家幼稚園、あおき保育園、恵愛こども園、川東さくらんぼこども園、高千穂幼稚園、あがた幼稚園、にし幼稚園、平和が丘幼稚園、飢肥こども園、あさひこども園、むつみ認定こども園、友愛保育園、伊勢ヶ浜保育園、宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園、三和こども学舎、こすもす保育園、うちやま幼保園、ももの木こども園、上長飯認定こども園、のぞみ保育園、生目幼稚園

【県外】 大隅中央幼稚園、亀の子幼稚園、認定こども園ひなたの風

【保育所型】 ひまわり保育園、天竜保育園、こばと保育園、めいほうこども園、わかたけ保育園、西小林保育園、こおりもと保育園

保育園

田代保育学園、にちなん保育園、みのり保育園、穆佐保育園、みつばち乳児保育園、おひさま保育園、一ツ葉保育園、あおぞら保育園、並木保育園(高原)、小山保育園、慈光保育園、中央保育園、相愛保育園、明照保育園、大王谷保育園、星空の都ポピー保育園、たいよう保育園、一真保育園、和光保育園、並木保育園(都城)、ひよこ保育園、わかば保育園

【県外】 隅田保育園、大池けいあい保育園、福津いくみ保育園、ひかり保育園、アンソレイユ保育園、いなほ保育園、ひなたの森保育園、Tomorrow Company

福祉施設等

清松園やわらぎの里、宮崎福祉会、うからの里高鍋事業所、宮崎県社会福祉事業団、つよし会、カリタスの園乳児院つばみの寮、もくせい園

公務員

門川町職員、都農町職員

進学

別府大学、福岡女学院大学、宮崎学園短期大学専攻科(福祉専攻)



しのぶ会だより



総会員数20,848名（令和7年2月現在）



新町橋架け替え工事終了

短

大開学と同じ昭和40年に幅6m歩道なしで架けられた新町橋は、老朽化に伴い、令和3年11月から架け替え工事を行っていましたが、約2年半の工事を終え、令和6年4月に開通しました。

以前の電車通学の学生は、清武駅から新町橋を渡り、美人坂を登って通学していました。登下校の時間帯には多くの学生が狭い新町橋を渡るため、地域住民の方々から「広がりすぎて車の運転に支障が出る」等、よく苦情の電話が短大にあったものです。新しい新町橋は、長さ147.5m、幅は旧橋の2倍超の14m幅3.5mの歩道が両側に設けられ、橋の途中には見晴らし台も設けられきれいな橋に生まれ変わりました。

橋を渡り切って美人坂を登っていくと途中に「長徳寺祈願堂」があります。一昨年の9月の台風により寺の崖と路肩が大崩壊し、現在も工事が続いています。長い間末原歯科～短大前まで通行止めとなっているため、ここ数年美人坂を歩くことができていません。

新町橋架け替え工事、台風災害と続き、駅からのスクールバス運行により、一層美人坂の存在が薄くなってきました。台風による災害復旧工事も春までには終了する予定です。開

通したら、美人坂をゆっくり歩いてみようと思います。



▲新しい新町橋



▲新町橋を渡って通学する学生（昭和50年頃）



▲工事看板

土の時代から風の時代へ

平成6年3月英語科卒業
しのぶ会会長 廣池(旧姓川口)直美
(川口木材株式会社 代表取締役)

この原稿を仕上げて
いる今は2025年が幕開
けし、今年こそは世界中平
和で良い年になりますよう
にと願いを込めて祈った初
日の出を思い出しながらさ
て、どのような1年にしよ
うかと想いに耽っております
。以下、私なりに今後の展
開を表現してみましたのでし
ばしお付き合いください。



昨年11月下旬から今まで以上によく耳にするようになった「土(地)の時代終わる」「風の時代始まる」というワードがあります。これは200年続いた土の時代が終わり、次の200年風の時代へと移行している現在のことを指しています。何と素晴らしい、私たちは今この時代のはざまを生きているのです。

土の時代とは、現実的な物質社会であり大事なものが所有物(家や車・財産)、学歴や地位、昔からの慣習通りに生きるなどがステータスでありました。世界中で革命が起き豊かな社会に向かってぐんぐん成長していくのでそれで良い時代でした。しかしその時代が終わり、次の風の時代は「身軽に、軽やかに、縛られない生き方」を選択するようになりそうです。家は持たずに好きな所に移動しながら暮らす、学歴などは関係なくその人の個性を活かして活躍する、昔のしきたりに縛られない自由な生き方などなるほど、もう既に今の時代と

マッチしている点も多いな、と時代の流れは間違っていないように感じます。

それは私の仕事上でも顕著に表れています。私は家業として杉の木材を製材する工場を営んでおりますが、風の時代の影響もあるのか住宅着工数の減少により住宅用の木材製品の出荷がほとんどなくなりました。皆さん、木材をふんだんに使った新しいマイホームに興味がなくなったのでしょうか。そんなはずはない、と思いますが物に執着しない風の時代だからやけに納得してしまいます。これでは商売あがったりなので、時代に合った方法で木材を活かしていくを考えなければなりません。

本格的に風の時代に入るのは2026年4月からと言われております。もう少し時間がありますから「柔軟に風に乗る準備」をしてその時を待ち、見えないものが大切になるということを中心に置いて、時代の流れに乗れるよう日々努力したいと思っています。

皆さまに幸多かれと願います。

卒業生からの近況報告

母校への感謝と想いを込めて

平成10年3月英語科卒業
パッソス(旧姓有持)裕子

“Where there's
a will, there's
a way.”

私の座右の銘は、学生時代に短大の図書館で見つけ



ました。図書館の3階の静かな日当たりのいい机がお気に入りの場所で、本棚から本を手に取り、ノートを広げて英文やジャーナルを書く日々。どれくらいの時間をあの場所で過ごしたでしょうか。

皆さんは学生時代のお気に入りの場所がありますか。

どうやって海外に行けるのか、英語が話せるようになりたい、でも今は話せるとは言えない自分、就職どうしよう、自分で答えを一生懸命探した学生時代でした。

「意志のあるところに道は開ける」

私は、平成10年に宮崎女子短期大学を卒業し、地元の企業に就職しました。在職中に通信講座で日本語教育について学び、24歳の時にアメリカで1年暮らすことになります。

帰国後は、児童英語の道に入り、宮崎、鹿児島で修業して、現在に至ります。

今は、4人の子育てをしながら、清武に開いた小さな英語教室がもうすぐ11年目になります。フォニックスを学ぶことを軸とした、コミュニケーションのための英語教室で、小学生から高校生に教えています。

昔の私と今の私、変わらないことは、英語が好きだということ、そして英語は面白いと思うことです。

児童英語講師を続けてきた私ですが、昨年は大きな変化があった年でした。

昔、一度志した日本語教師という道を、もう一度歩いてみようかと、宮崎大学の420時間単位の養成講座プログラムを受講しました。ずいぶん前に独学で勉強した内容を、大学で学び直しができるという機会に恵まれたことは奇跡だと感じています。また、コロナ禍を経

て、対面で授業を受けることができる喜びを噛みしめた時間でもありました。再び大学で学ぶということを経験した私は、いくつかのテスト勉強も通過しながら、今の学生の皆さんの気持ちを思い出すことができました。

私は現在、かつて過ごした母校で英語の非常勤講師として活動する機会をいただいております。

授業では、英語はコミュニケーションの道具であることを実践的に学べるよう、グループ活動や発表を多く取り入れています。学生たち自身が調べる、計画する、また自ら考えるために、図書館の書籍をたくさん利用したアクティブラーニングを含んだ授業も展開しています。年度末の授業評価アンケートの中で「英語とこどもの関係性をよく知ることができ、どのように幼児教育と関わっていくべきかを理解することができた」「英語は楽しいものなんだと思えることができた」などのコメントは私の大きな励みになっています。

時を経て、今度は私が教える側となり、学生たちに貢献できる立場にいることは、本当に光栄なことです。同時に、大きな責任と挑戦を感じています。そして、かつての私のように、ここで学ぶ学生たちが自分自身の可能性を感じ、未来に向かって羽ばたいていく姿を見ることが私の何よりの願いです。



母校は、私にとって「学ぶ喜び」と「教える意義」を教えてくれた特別な場所です。

最後になりますが、これまでご指導いただいた先生方、支えてくださったすべての方々に、改めて感謝を申し上げます。そして、現在ともに学ぶ学生や同僚の方々に感謝と敬意を込めて、このメッセージを終えたいと思います。

学生時代の思い出

平成17年音楽科卒業 平成18年専攻科修了
森川(旧姓宮路)里奈

私

は、宮崎女子高等学校から宮崎女子短期大学音楽科に進学しました。

その目的は、大好きな合唱を有川先生の下で続けることと中学校音楽教諭免許の取得です。

私は短大には専攻科と非常勤で計4年間在籍しましたが、その頃は合唱部の最盛期と言っても過言ではないと思います。有川先生には合唱の全国大会の出場で、毎年、日本各地に連れて行っていただきました。新潟県で開催された大会では、練習中に大粒の雹が窓の木枠にガンガン降り注いできて、その音の大きさに驚きました。また、大会の翌日にユニバーサルスタジオ・ジャパンに遊びに行った年もありました。このように、短大での合唱にはたくさんの思い出があります。その中で最も思い出に残っていることは、短大1年目に演奏した「日向木挽き唄」です。これは、女子高合唱部時代にNHK全国学校音楽コンクールの全国大会で銀賞を受賞した曲です。女子高時代は、冒頭のソロパートをソプラノパートのメンバーが2、3人で歌っていました。短大でも同様に練習してい

ましたが、当時、合唱部顧問だった山下恵子先生(現理事長先生)が県大会直前に「クラスに民謡の得意な子がいるんです」とおっしゃいました。それで、合唱部のメンバー皆で「折角だから聞いてみよう」ということになり、そのクラスメイトが「日向木挽き唄」を民謡で歌ってくれたのです。彼女の伸びやかな声と、本物の民謡を初めて生で聞いた感動は今でも鮮明に覚えています。皆、彼女の民謡に感動しました。このことで、彼女が民謡で冒頭のソロパートを一人で歌い、続いて合唱が歌いだすという独創的な演奏をすることになりました。冒頭のソロパートをたった一人で歌った彼女は、全国大会という重圧にも負けず、伸びやかな歌声を会場のホールに響かせていました。その結果、全国大会で見事に金賞を受賞することができました。ちなみに、私は民謡の彼女の歌声に感動して、大会の本番で鼻をすすりながら歌ったのも懐かしい思い出です。また、「日向木挽き唄」は、私の結婚式でも合唱部時代の友人たちと歌いました。その際も民謡の彼女が冒頭のソロパートを歌い上げてくれ、私の合唱人生で一番大切な曲になりました。

合唱に明け暮れた学生時代ですが、「好きこそものの上手なれ」ということわざがぴったりな私です。私は、短大に在籍した後、念願の中学校音楽の講師として働かせていただくことになりました。そこは合唱がとても盛んな中学校で、大好きな合唱をたくさん指導できる機会をいただきました。子どもたちと一緒にコンクールに向けて励んだ日々は、何物にも代えがたい宝物です。当時の教え子たちはその後、宮崎学園に進学し、保育士や幼稚園教諭の資格を取得し、今では立派な保育士として現場で頑

張っています。大好きな合唱がつないでくれた縁に感謝の気持ちでいっぱいです。

短大を卒業して、20年が経ちました。仕事や家事に追われる日々ですが40歳の節目ということもあり、久しぶりに同窓会を企画することになりました。子連れでも参加できるように一泊二日の「キャンプ同窓会」です。参加できたのは7名でしたが、持ち寄った一品料理（鹿児島名物がね）を味わいながら思い出話に花が咲きました。久しぶりに会っても久しぶりな感じがしない、一緒にいると心も体も安らぐ友人たちといつまでも仲良くしていけたらいいなと思いました。

現在は子育てをしながら、短大時代に取得した資格を生かし幼稚園の事務員として働いています。これまで何度も転職し様々な職種を経験しましたが、「無駄なことなんてひとつもない」と感じました。これからも人生の岐路においてその都度してきた自分の選択に自信を持ち、前を向いて進み続ける、そんなポジティブな自分であり続けたいです。何よりいつも周りで支えてくれる家族や友人、恩師、同僚のみんなに感謝する気持ちを忘れず今を大切にしたいと思います。数々の思い出、そして大切な友人や恩師と巡り合わせてくれた「ご縁」をつないでくれた宮崎学園短期大学に最大の感謝の気持ちを込めて、ありがとうございます。



▲40歳まだまだ飛べるね！

諦めなかった夢

平成30年3月現代ビジネス科卒業

上田 沙織

宮

崎学園短期大学
を卒業してから
7年が経過し、



27歳を迎えました。私が、宮崎学園短期大学に入学したきっかけは、母からの勧めでした。高校3年生当時、私は警察官を目指すために公務員専門学校への入学を希望していましたが、公務員試験の難しさと、自身の学力から入学を諦めていました。

そんな中、母から今まで学んできた情報系の知識も活かせる医療事務の道を勧められました。母は医療事務をしているため、私の性格と母の経験から私に医療事務の仕事を勧めてくれたのだと思います。

その後私は、宮崎学園短期大学の現代ビジネス科医療事務・医療秘書コースに入学して2年間学び、教えていただいた先生方のおかげで医療事務の資格のほか、様々な資格を取得して、卒業することができました。卒業後は、宮崎市内の病院へ就職し、レセプト請求、窓口・電話対応などの業務を行う中で多くの失敗をして、また、人間関係にも悩みましたが、両親の支えと「石の上にも三年」と考えて毎日を乗り越え、何とか仕事もスムーズにできるようになり、失敗も少なくなりました。

そんな中、病院の窓口に警察官採用時の健康診断書を持参される患者さんが来院され、その時ふと、「警察官になる方なんだ。いいな」と高校生当時に目指したいと思っていた

警察官の夢を思い出しました。夢を思い出した時は25歳。「もう警察官を目指すには遅いだろうし、今の仕事を辞めたら他の方に迷惑をかけてしまう」と考え、挑戦したいと思う一方で周りへの影響を考えてしまい中々言い出せませんでした。両親には何度も相談し、警察官である父は「自分のしたいことをやりなさい」と、母は応援してくれている一方で、慣れてきた職場を辞めること、そして、仕事がなくなることを不安に思っている様子でした。この期間、両親に心配と不安を与えてしまい申し訳なく感じていました。

私が、退職と警察官になる夢に挑戦する決心ができたのは、前職でいつも私を気にかけてくれた方から「あなたの人生だから、周りは関係ないから」という言葉を贈っていただき、その通りだと感じたことがきっかけです。行動せず、挑戦せずに終わったら後悔しか残らない。そして、当時自分が挑戦できなかったことを誰かのせいにして逃げてしまうのではないかとも思いました。

覚悟を決め、前職を退職後、警察官になるために公務員専門学校へ入学し、約5年ぶりに一般教養の勉強に励みました。やはり、学力は中々伸びませんでしたが、自分で決めた道を進むために、自分のペースで努力したことで宮崎県警察に合格することができました。

第一次試験は筆記・作文、第二次試験は面接でしたが、面接に関しては前職での経験が活かされ、自分の言葉で面接に臨むことができました。

また、私は高校卒業後から約7年間、宮崎市消防団に入団させていただき、活動の中で、幅広い世代の消防団員や地域の方と関わ

ることで、コミュニケーション力もついたのでと感じています。前職や消防団活動を通して、様々な経験を積むことができたことも宮崎県警察の合格を掴むことができた一因ではないかと考えています。

令和6年4月に宮崎県警察学校に入校して9か月が経過しました。入校前は運動も何もしてこなかった私ですが、同期生と学校生活を送る中で何とか体力もついてきたのではないかと感じています。

令和7年1月に卒業を迎えますが、これからが警察官としての一歩になります。地域住民の期待と信頼に応え、安心で安全な生活ができるよう、警察官としての使命を果たしていきます。

宮崎学園短期大学での学び、前職での経験があったからこそ、今回の合格に繋がり、これは「巡り合わせ」である、と合格した当時を思い出して、今でも家族と話しています。

今回忍ヶ丘の投稿依頼をいただき、再度これまでのことを思い出すきっかけとなりました。

私は転職して、今は誇りと使命感、そしてやりがいのある警察官という仕事につきました。警察は市民の「安心と安全」を全力で守る仕事であり、治安を守るために、刑事や生活安全、交通など様々な職種があり、バラエティのある職場です。皆さんに警察を一つの就職先として考えていただけたら幸いです。

母校が今後ともますます発展し、多くの後輩たちにとって、とても素晴らしい学びの場となることを心より願っております。

本当にありがとうございました。

同窓会から

元気パワーをもらって

昭和55年3月保育科卒業
幹事 太田 聡子

4

年前の還暦同窓会から、コロナの影響もあって同窓会を開くまでに時間がかかってしまいましたが、年齢相応に時間の経過を感じました。皆それぞれの人生を生き、苦労している人もいますのですが、年を取っても元気で働けることは幸せなことなのだと実感しました。

こうして旧交を温め元気もらえることは幸せなことだと思います。お互いに元気パワーをもらってまた生きていけるのなら、同窓会に参加することも悪いことではないし、嬉しいことだと思います。初めての幹事でした。不手際などもあったかと思いますが、笑って許してください。

●今日は暑い中ワイワイガヤガヤ会話も弾み、楽しい会でとても幸せです。矢口先生のお顔も見られてよかったです。

倉永(旧姓長友)裕子

●久しぶりの参加で皆さんに会えてよかった。矢口先生のお元気そうな姿とパワーにビックリ!! 私これから頑張ろう~っと思います。

川辺(旧姓吉田)智子

●皆さんパワフルで元気をもらいました。毎日忙しくしていますが、もう少し頑張ろうと思えました。ありがとうございます。県庁の皆さんも頑張っています。私も一緒に暫くは頑張ります。

岩尾(旧姓岩切)久子

●会った一瞬で昔に戻れました。皆のパワフ

ルさに元気をもらえ、本当に楽しかったです。

丸山 奈津子

●4年振りの同窓会。みんな元気でワイワイ食べて、楽しんで何よりです。パワーをもらって、また明日から頑張しましょう。

深江(旧姓井川)純子

●久し振りの参加で楽しい時間を過ごせて良かったです。皆の話を聞いてもう少し働けるかな? って思ったところですよ。

河野(旧姓井上)美紀代

●皆それぞれの立場で頑張り、活躍されている様子が窺えて有意義でした。元気もらえたー。また頑張ろう!! 黒木(旧姓末原)稔世

●久し振りの同窓会。矢口先生や皆の顔に元気をもらいました。今はまだ仕事を頑張っていますが、足、腰にきています。65歳まであと6か月、頑張りま〜す。短大入学の頃がついこの前のように、皆全然変わってなくて嬉しいです。

有嶋(旧姓相沢)都茂枝

●コロナ禍以降の同窓会、とても楽しかったです。矢口先生を始め、皆さんとても元気で仕事に頑張っているの、私もパワーをもらい、益々頑張りたいと思います。

茂(旧姓加藤)節子

●みんなの元気な明るいパワーをもらって、私もまた元気に明るく過ごし、またみんなに会いたいと思います。野田(旧姓山元)由紀子

●来年後期高齢者となるそうです。明栄寺ヒノデ保育園に樹木葬を申し込みました。墓は作らないはずでしたが、もしかしたらお参りしてくれるかと思ってです。葬式もしないつもりでした。女房は無理とのことで、猪野(旧姓吉里)元子に葬儀委員長をお願いしました。もう一つの寅年、そして喜寿を目指して女たちの

元気をエネルギーとして、まだまだ生きていきます。
矢口 裕康



やっと、会えたね

昭57年3月保育科卒業
幹事 前田(旧姓梶田)佳月

令

和2年11月以降コロナに悩まされ、あれから4年、令和6年5月18日にやっと同窓会を開催できました。矢口先生をはじめ懐かしいメンバー10名との久々のご対面でした。

「元気やった?」といつものおしゃべりタイムが始まり、学生時代の先生の講義を思い出すクイズや、じゃんけんゲームなどで盛り上がりました。

●「ハ ハハ ハハハ」こそ人生です。[H・Y]
●4年ぶりの矢口先生の止まらぬトークとおいしい食事とお酒・ゲームに記念撮影、とっても楽しい時間でした。また来年～。[S・K]

●63歳になり、皆言いたいこと、言いたい放題で楽しかったです。矢口先生もパワフルで嬉しかった。[Y・F]

●久しぶりの同窓会です。みんな元気な笑顔で変わりなく…。楽しかった。[I・T]

●とっても盛りだくさんの楽しいひと時。久しぶりの矢口講義。学生時代に戻ったようでした。

[E・S]

●コロナの影響もあり、還暦のお祝いも先延ばし、久しぶりに旧友と会う機会を得て、とてもステキなひと時でした。[K・S]

●2020年以来の矢口会。とっても楽しみに待っていました。変わらぬみんなの笑顔と矢口先生の声。とっても楽しい時間でした。またね。

[A・S]

●体調があまり良くない中、参加しましたが、久しぶりに皆さんに会えて元気をもらえました。最高です。これから頑張れそうです。ありがとう!

[K・K]

●久しぶりの同窓会、とっても楽しかった。最近まで(去年から)いろいろあって落ち込んでいましたが、少し元気になれました。[C・H]

●コロナ禍で延期、久しぶりの同窓会。進行を無視して大盛り上がり! 矢口先生を囲んでの楽しいひと時でした。次回が楽しみです。[N・Y]

まだまだ語り足りないあつという間の二時間半でした。矢口先生が教えてくださった、(歯)を大切に、ハハ(母 父)を大切に、ハハハといつも笑顔を絶やさずに過ごしましょう。

今回、仕事・療養・介護などで参加が叶わなかった方も次回を楽しみに。また元気な笑顔で会えますように! 最後に、この同窓会を開催するにあたり、いつものぶ会よりご援助いただき開催を後押ししてくださっていることに心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



次回も楽しみ！

平成2年3月初等教育科卒業

幹事 村社 智子・
溝口(旧姓山鹿)宜子

コ ロナ禍を経て、ようやく開催できた同窓会。思い出の答え合わせも年月が経ち過ぎて、答えもあやふやで笑いが絶えない時間でした。次は還暦同窓会です。また会いましょう。それまでお元気で。 村社 智子

●5年振りにみんなの元気な顔を見られて、私も元気をもらいました。それぞれ家庭の事情もあり、楽しいことばかりではない毎日を過ごしていても、学生の頃に戻れたようで笑いが絶えない貴重な時間でした。次は5年後、赤い服を着て会いましょう。

溝口(旧姓山鹿)宜子

●卒業して35年が経ちましたが、あっという間に過ぎた気がします。皆と話をしていると短大の頃に戻ったようですごく楽しかったです。次は還暦のお祝いをしたいです。

郡司 直美

●5年ぶりの再会でした。久しぶりに会えたのにもかかわらず、たくさん話してたくさん笑って、あっという間の時間でした。企画してくれた方々、いつもありがとうございます。次回も楽しみにしています。

高木(旧姓島田)郁子

●あっという間の55歳。みんな変わらず楽しく語り合いました。まだまだ若く元気でいましょう。次は赤いちゃんちゃんで集合しよう。 川越(旧姓田野)優子

●とても楽しい時間を過ごすことができました。

した。次回も皆さまとお会いできることを楽しみにしております。

川田(旧姓壇上)聖子

●前回から5年振り、変わらない皆に会えて楽しかった。次回の再会を楽しみに。

奥野(旧姓長岡)智恵子

●またみんなと会えて嬉しかったです。いろんな話ができて、楽しい時間を過ごすことができました。また次回会えることを楽しみにしています。 西本(旧姓百市)真美
●約20年振りに参加させていただきました。久しぶりの再会でしたが、学生の頃と変わらずとても楽しく過ごすことができました。次回を楽しみにしたいと思います。

天神原(旧姓堀内)恵子

●5年振りの再会。35年の月日を感じさせない仲間たちとの楽しい時間。5年後の再会を楽しみにまた頑張るぞという気持ちにさせてもらいました。 鴨田(旧姓森)多江



お知らせ

日本学生支援機構からのお願い

■ 在学時に貸与奨学生だった卒業生の方

「毎月、あなたの口座から、返還金が引き落とされていますか？」

昨年の3月卒業の貸与奨学生の方は、令和6(2024)年10月から奨学金の返還が始まっています。通帳の確認をお願いします。

■ 減額返還・返還期限猶予について

あなたが、経済困難、失業、傷病、災害等により返還が困難になった場合、猶予を受けることができます。

※スカラネット・パーソナルでの手続き

■ 返還中に登録内容の変更が生じたら、各種届出を必ず行ってください。

①住所または電話番号が変わった。

②連帯保証人、保証人、本人以外の連絡先が変わった。

③連帯保証人、保証人が変わった。

※①及び②は、スカラネット・パーソナルでの手続き

※③は、書面での手続き

日本学生支援機構相談窓口

TEL 0570-666-301

<https://jasso.go.jp/shogakukin/henkan>

『忍ヶ丘』の発送について

毎年3月に本誌『忍ヶ丘』をお送りいたしておりますが、不要な方は、末頁の連絡カード・電話・FAX等でお知らせください。



■ しのか会連絡先

〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415番地

宮崎学園短期大学同窓会 しのか会事務局

TEL 0985(85)0146

FAX 0985(85)0101

各種証明書の発行は「証明書発行サービス」をご利用ください

「証明書発行サービス」では、必要な証明書の発行を本学のホームページから申請し、決済や受取方法を選べます。

■ 発行の流れ

- ① スマートフォンやパソコンで、本学のホームページにアクセスし新規登録手続きを行う
- ② 登録完了後、「証明書発行サービス」サイトにログインし、証明書の発行方法を選択する



- 発行手数料の決済方法の種類

クレジットカード(オンライン決済) コンビニ現金払い(セブン-イレブン他) PayPay(オンライン決済)

- 卒業年度による証明書の発行方法の違い

平成30(2018)年度卒業以前

郵送 窓口受取

平成30(2018)年度卒業以降

郵送 窓口受取 コンビニ オンライン(PDF)

郵送 本学から証明書を郵送(送料別途)

窓口受取 本学の窓口で証明書を受取

コンビニ 全国のコンビニ(セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン)の各店舗内に設置されているマルチコピー機を利用して証明書を受取 ※別途、コンビニマルチコピー機利用の印刷代が必要

オンライン(PDF) 証明書をPDFデータでシステムから直接、提出先(就職先など)に送付

■ よくある質問

Q 申請後に何の連絡も来ないのですが。

A 利用申請結果のお知らせメールが登録メールアドレスに届きます。迷惑メールフォルダに振り分けられていませんか。証明書発行サービスnoreply@certcvs.ntt-west.co.jpからメールが届きますので、受信できるよう設定をお願いします。利用申請結果を知らせるメールは、受信までに数日かかる場合もあります。1週間以上たってもメールが届かない場合は証明係までお問い合わせください。

Q 申請したい証明書を間違えてしまいました。

A 証明書発行手数料の支払い前であれば、そのまま支払わずに新たに申請してください。お支払い後の返金はできませんのでご注意ください。

Q 短大窓口で証明書を受け取りたいのですが、選択項目が見当たりません。

A ログイン後に表示される「証明書を発行」の「郵送」を選択し、送付先カテゴリをクリックすると「大学担当窓口での受取り」が表示されますので、そちらを選択してください。

Q 卒業後に結婚して姓が変わりました。変更後の名前で証明書を発行してほしい。

A 改姓名での証明書発行はできません。卒業時の名前での発行となります。

証明書の申請および発行方法などの詳細についてはこちらから



<https://www.mgjc.ac.jp/graduate/certificate/>

問い合わせ先

【支払い方法やコンビニエンスストアでの操作方法、その他システム全体】

証明書発行サービスコールセンター TEL 082-207-4262(平日9:00~17:00)

【証明書の内容】 宮崎学園短期大学 証明書係

TEL:0985-85-0146(平日8:30~17:15) E-mail:syoumei@mgjc.ac.jp

異動通知は必ず出してください！

会員の皆様方の身上に異動が生じた時には、必ずこの葉書をお出してください。
また、お寄せいただいた個人情報につきましては、同窓会しのぶ会運営の目的
以外には使用しません。

※今後あなたの住所・電話番号・勤務先等に変更等があった場合、また結婚して改姓・転居される場合には、ご面倒でもこの葉書を利用してご連絡ください。
※同窓会の旧職員・先輩・後輩を問わず住所不明の方の消息や住所等をご存知でしたらぜひお知らせください。
※点線にそって切りとり、ご使用ください。

異動通知連絡カード

※どちらか○で囲む 年 月 日 報告

①本人の訂正・異動通知		掲載頁	年版
②知人（本人以外）の訂正・異動通知		頁	行目
※②の場合 連絡者名		卒年	昭和・平成・令和 学科

卒年	昭和・平成・令和	科	組	(不明者No)
学	姓	旧姓	名	
フリガナ				
氏名				
〒				
現住所				
	市外局番	市内局番	番	号
勤務先	市外局番	市内局番	番	号
	市外局番	市内局番	番	号
注意 。宮崎県内在住者は県名を省略 。自営の方は社名・店名を記入 。「1丁目2番3号」は「1-2-3」のように記入				
確認事項 同窓会しのぶ会からの発送に関して 希望する ・ 希望しない				

異動通知連絡カード

※どちらか○で囲む 年 月 日 報告

①本人の訂正・異動通知		掲載頁	年版
②知人（本人以外）の訂正・異動通知		頁	行目
※②の場合 連絡者名		卒年	昭和・平成・令和 学科

卒年	昭和・平成・令和	科	組	(不明者No)
学	姓	旧姓	名	
フリガナ				
氏名				
〒				
現住所				
	市外局番	市内局番	番	号
勤務先	市外局番	市内局番	番	号
	市外局番	市内局番	番	号
注意 。宮崎県内在住者は県名を省略 。自営の方は社名・店名を記入 。「1丁目2番3号」は「1-2-3」のように記入				
確認事項 同窓会しのぶ会からの発送に関して 希望する ・ 希望しない				

切手を
はって
ください

郵便はがき

889-1605

宮崎市清武町加納丙一四一五
宮崎学園短期大学内

宮崎学園短期大学同窓会
しのぶ会 行

通信欄

切手を
はって
ください

郵便はがき

889-1605

宮崎市清武町加納丙一四一五
宮崎学園短期大学内

宮崎学園短期大学同窓会
しのぶ会 行

通信欄